

# 安城市消防団のあゆみ

安城市における消防の起源は、徳川、江戸時代における火消しにならい隣近所で申し合わせ、各村の有力者が鳶口、刺又等を用意した私的なものでした。明治時代に至り団体行動のできる組織が作られ、被服も革新的に進歩し志気大いに奮い、年々装備の改良、訓練に励み、消防の信頼も町内に厚く近在の模範でした。

| 年 月                                       | 沿 革                                                                                                                         |
|-------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 明治 27 年 2 月<br>明治 34 年                    | 消防規則が示され私的消防組を公設消防組と改められる。<br>安城を一元化した第 1 部(東尾)、第 2 部(西尾)、第 3 部(新田)さらに明治 39 年 5 月 1 日町制施行となり、第 4 部(南明治)、第 5 部(里)を加えた陣容を整えた。 |
| 大正時代<br>昭和 22 年 10 月<br>昭和 24 年           | 各村落に消防組織を結成、第 1 部から 17 部までの編成となる。<br>「安城町消防団条例」を制定する。<br>「消防団設置に関する条例」及び「消防団設置規則」を制定、17 個分団を編成する。                           |
| 昭和 27 年 5 月                               | 市制施行「安城市消防団」が発足する。<br>ポンプ操法競技会を毎年実施する。                                                                                      |
| 昭和 30 年 4 月                               | 町村合併により依佐美村消防団 2 個分団、明治村消防団 6 個分団編入し、一躍 25 分団編成となる。                                                                         |
| 昭和 31 年                                   | 合併地区の消防組織の強化として、手引腕用ポンプ等の分団に対し新鋭ポンプに更新する。<br>同年 8 月第 1 回愛知県消防操法競技大会に優勝、第 1 回中部 7 県消防操法競技大会に愛知県代表として出場し優勝する。                 |
| 昭和 32 年 5 月<br>8 月                        | 団体として最高の荣誉である国家消防庁表彰受賞。<br>第 2 回愛知県消防操法競技大会に優勝、第 2 回中部 7 県消防操法競技大会に優勝。                                                      |
| 昭和 33 年 8 月                               | 第 3 回愛知県消防操法競技大会に優勝、第 3 回中部 7 県消防操法競技大会に優勝。                                                                                 |
| 昭和 35 年 4 月                               | 第 4 分団(南明治)を廃団し自警団を結成。同じく 1 月町村合併による矢作町 5 地区を編入、第 26 分団となる。                                                                 |
| 昭和 36 年 4 月<br>昭和 37 年 4 月<br>昭和 42 年 3 月 | 第 17 分団(北明治)廃団し、自警団を結成。<br>「安城市消防団規則」を改正し、10 個分団 24 部とする。<br>「安城市消防団規則」を改正し、南部分団西尾部を廃団し自警団を結成、10 個分団 23 部とする。               |

|                                                         |                                                                                                                                       |
|---------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 昭和 42 年 4 月                                             | 碧海郡桜井町が安城市に合併し、町村合併により桜井町消防団 2 個分団 4 部を加え 12 個分団 27 部と増強した。                                                                           |
| 昭和 46 年 7 月<br>昭和 47 年 4 月                              | 定数 443 人とする。<br>南明治、北明治、西尾分団とし、以降 30 分団となる。<br>「安城市消防団規則」を改正し、1 団 30 分団とする。<br>安城市消防団が特別功績旗受章。                                        |
| 11 月<br>昭和 51 年 8 月                                     | 第 21 回愛知県消防操法大会小型動力ポンプ操法の部において優勝。(和泉分団)                                                                                               |
| 昭和 61 年 4 月<br>11 月                                     | 「安城市消防団条例」を改正し、定数 406 人とする。<br>愛知県消防連合記念大会を安城市において開催。                                                                                 |
| 昭和 62 年 4 月<br>平成 元年 7 月<br>平成 25 年 11 月<br>平成 27 年 4 月 | 「安城市消防団条例」を改正し、定数 404 人とする。<br>第 34 回愛知県消防操法大会を安城市において開催。<br>愛知県消防協会表彰特別竿頭綬を受章。<br>消防団応援事業所制度、消防団協力事業所表示制度を開始。<br>二本木分団に安城市初の女性団員が入団。 |
| 平成 27 年 8 月                                             | 第 60 回愛知県消防操法競技大会小型動力ポンプ操法の部において優勝。(赤松分団)                                                                                             |
| 平成 28 年 4 月                                             | 「安城市消防団条例」を改正し、定数 495 人とする。<br>機能別消防団員 30 人が誕生。(3 年で 90 人)<br>大学生等活動認証制度を開始。                                                          |
| 平成 28 年 11 月<br>平成 29 年 3 月                             | 愛知県消防協会表彰特別竿頭綬を受章。<br>第 69 回日本消防協会定例表彰において消防協会最高荣誉章「特別表彰まとい」を受章。                                                                      |
| 平成 30 年 12 月<br>平成 31 年 2 月<br>令和 3 年 3 月<br>令和 3 年 7 月 | 総務大臣から「総務大臣感謝状」を受賞。<br>消防庁長官から「消防団等地域活動表彰」を受賞。<br>消防庁から「竿頭綬」を受章。<br>第 66 回愛知県消防操法大会を安城市で開催であったが新型コロナウイルス感染症拡大により中止となる。                |

## 消防団長歴

| 在職期間                               | 氏名      |
|------------------------------------|---------|
| 昭和 22 年 9 月 1 日 ～ 昭和 25 年 8 月 31 日 | 大 見 卓 也 |
| 昭和 25 年 9 月 1 日 ～ 昭和 33 年 8 月 31 日 | 加 藤 三 二 |
| 昭和 33 年 9 月 1 日 ～ 昭和 37 年 8 月 31 日 | 市 川 重 信 |
| 昭和 37 年 9 月 1 日 ～ 昭和 53 年 8 月 31 日 | 神 谷 信 明 |
| 昭和 53 年 9 月 1 日 ～ 平成 7 年 3 月 31 日  | 加 賀 昭 成 |
| 平成 7 年 4 月 1 日 ～ 平成 15 年 3 月 31 日  | 奥 谷 重 夫 |
| 平成 15 年 4 月 1 日 ～ 平成 19 年 3 月 31 日 | 横 山 真喜男 |
| 平成 19 年 4 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日 | 榊 原 亘   |
| 平成 29 年 4 月 1 日 ～ 令和 5 年 3 月 31 日  | 太 田 佳 男 |
| 令和 5 年 4 月 1 日 ～ 現在                | 石 川 秀 孝 |

